

2025

令和7年

8月号

広報

TAKKO

たっこ

第14回 田子にんにく収穫祭

6月21日、22日の2日間、田子にんにく収穫祭が行われました。詳しくは2ページをご覧ください。

[CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2
第14回田子にんにく収穫祭
- トピックス…………… 4
協働のまちづくり町民会議「地域学」の授業
たっこにんにくを守ろう！ ほか
- お知らせ…………… 6

- 公民館情報…………… 10
第77回三戸郡総合スポーツ大会競技結果 ほか
- 図書館情報…………… 11
夏休み 図書館で 本を読もう
- 情報スクランブル…………… 12
学校の話 田子中学校 ほか





大きいんにくを掘るぞ！

田子にんにく収穫祭

第14回



ガーリックレディとたっこ王子



掘り取り体験チケット売り場には行列が



新たに設けられたキッズエリア



掘り取り会場の様子

6月21日と22日の2日間、田子町農山村広場を主会場に「田子にんにく収穫祭」が開催されました。これは、にんにく収穫祭実行委員会（佐藤裕一実行委員長）の主催によるもので、今年で14回目の開催となりました。

21日の掘り取り解禁セレモニーでは、佐藤実行委員長が「今年のは場は去年から始めたもので、玉も非常に大きく育っています。大きいにんにくを掘り取って、収穫祭を楽しんでいってください」と述べました。その後、佐藤実行委員長、山本晴美町長、澤口勝町議会議長、ガーリックレディの一二三華月さん、準ガーリックレディの嵯峨山結菜さん、岩澤真理子さん、たっこ王子に加え、この日1番目に「にんにく掘り取りチケット」を購入した方の8名でテープカットを行い、掘り取り体験がスタートしました。

セレモニーの後には、この時期しか味わうことのできない生にんにくを求め、今年も町内外からたくさんの方が掘り取りを行いました。なかなか抜けないにんにくに苦戦しながらも、大きなにんにくを掘り当てた参加

多くの来場者でにぎわう会場



たっこ王子とじゃんけん大会



田子の郷土芸能「ナニヤドヤラ」



にんにくどつびぎ



伝統芸能「田子神楽」



丸ごと生にんにくの素揚げ



者はとても満足そうな様子でした。

出店が並んだ広場では、各日、数量限定販売の特製田子牛ケバブや丸ごと生にんにくの素揚げなど、来場者は田子の味を楽しんでいました。また、子どもたちが列を作り、たっこ王子と一緒に写真を撮り、写真入りの缶バッジを記念に持ち帰っていました。

会場の一部には、子どもたちが自由に遊べるようキッズエリアが設けられ、ジャンボシヤボン玉を体験できるコーナーなどもあり、多くの参加者でにぎわいました。

ステージでは、たっここども園の園児たちによるアトラクションや田子神楽、にんにくどつびぎ、たっこ王子とのじゃんけん大会、歌謡ショーなどが行われ、会場を盛り上げました。

今年のにんにく収穫祭には、2日間で約3800人のお客様が会場を訪れました。イベント期間中は、町内の各産直施設でも生にんにくが販売されるなど、町内はにんにくづくしの2日間となりました。

協働のまちづくり町民会議「地域学」の授業

(※写真1・2・3)

5月26日と6月23日、田子中学校で、「このまちで育つということ」をテーマに、地域学の授業が行われました。

これは、田子町協働のまちづくり町民会議(佐藤剛大会長)の主催によるもので、町の歴史や美しい自然、地域特有の文化や伝統芸能、田子町らしい産業などを「地域学」として将来の担い手となる子どもたちに伝え、地域の美しさや魅力を再確認し未来へ継承していく人材を育成する活動として行われました。

協働のまちづくり町民会議では、町民19名の委員が集まり、自分たちが暮らす田子町をより良くするため

に、地域の課題や将来に向けた取り組みについて意見を出し合い、町民の声をまちづくりで反映させるための活動を行っており、今年度新たな取り組みとしてこの授業が実施されたものです。

第1回の授業では1学年生徒を対象に、町の農業と林業について、委員の沢森靖史さん、宇藤佳明さん、

深沢直幹さんが講師となり、にんにく、米などを中心とした農業の現状や、森と水の関係、林業の仕事など、豊かな自然を守りつないでいくために考えていかなければならない課題などについて学びました。

また、第2回の授業では2学年生徒を対象に、町の産業や職業について、委員の大村素子さん、古田和美さん、五十嵐孝直さんが講師となり、自身のこれまでの経験や仕事に対する想いのほか、田子町にはどんな仕事があり、なぜ仕事をす

るか、子どもたちへのアンケートの結果などをもとに授業が行われました。参加した生徒たちは、「自分の住んでいる町について知らないことが多かった」「将来の職業として農業も考えてみたい」「自分の住んでいる町にも様々な可能性があることを知った。この町だからこそこそでできることに挑戦

したい」「夢や希望を持つことの大切さを学んだ」など感想を述べていました。

三戸郡総合スポーツ大会結団式

(※写真4)

5月30日、中央公民館研修室で第77回三戸郡総合スポーツ大会田子町選手団結団式が行われました。これは、6月1日、7日、8日の3日間、三戸町を主会場に開催された三戸郡総合スポーツ大会に向けて、総合の部での上位入賞を目指し、各競技参加者の士気を高めるために行われています。

選手団を代表して、町野球協会の新井田光良さんは「ケガをしないことを第一の目標に、他町村との交流を楽しみながら頑張りたいと思います」と抱負を述べました。

田子町からは11競技、選手団総員127名が参加し、各々が日頃の練習の成果を発揮しました。

大会結果は公民館情報をご確認ください。



(写真1)にんにくについて説明をする沢森委員



(写真2)「森」を知ること「森と共に生きる」深沢委員



(写真3)仕事に対する思いを伝える古田委員

たつこにんにくを守る
う！ (※写真5)

教育委員会委員 辞令交付式



6月24日、役場町長室で教育委員会委員辞令交付式が行われ、中平愛美さん(干草場・写真)に辞令が交付されました。

新たに田子町教育委員会委員に任命された中平さんは「田子町は、これからの人生に役立つ英語や、ICTなどを学ぶ機会がたくさんあり、とても良い環境だと思う。学校関係者や地域の方と協力しながら、町の子どもたちが安心して生活できるよう尽力していきたい」と今後の活動への意気込みを語りました。

任期は4年間で、令和11年6月22日までです。

6月5日、中央公民館で「にんにく盗難防止パトロール出動式」が行われました。収穫期を迎えたにんにくの盗難被害を防ぐため、毎年この時期にパトロールを実施しています。この日の出動式には、田子町防犯協会、三戸地区防犯指導隊、田子支隊、八戸農協にんにく生産部会、田子支部、八戸農協三戸営農センター、三戸警察署員など関係者約50名が参加しました。

には、盗難防止を呼びかける看板とのぼり旗の設置作業が行われました。

農家の皆さんが丹精込めて育てたにんにくが盗難被害に遭うことがないよう、6月下旬までの期間、関係者によるパトロールが実施されました。

しあわせのまちづくり 結婚祝い金贈呈式

(※写真6)

6月18日、役場公室で「田子町しあわせのまちづくり結婚祝い金贈呈式」が行われました。この事業は、若者世代の夫婦が婚姻後、引き続き3年以上町内に居住する意思がある等の条件を満たす場合に、結婚祝い

金が支給されます。

山本町長は「仕事だけでなく、季節やスポーツなども楽しみながら、よりよい家庭を築き、末永く幸せになつていただきたい」とお祝いの言葉を述べました。祝い金を受け取った宇藤夫妻は「子どもが生まれるので出産費用などに充てていきたい。自然豊かな田子町で楽しく、家族みんなで暮らしていきたい」と話していました。

今回で事業開始から76組目、令和7年度2組目の贈呈となります。

今回対象となったご夫婦は次のとおりです。

▽宇藤賢明・美幸 夫妻

(下本町)



(写真5) 盗難防止看板が手渡される様子



(写真6) 結婚祝い金を受け取った宇藤夫妻



(写真4) 田子町選手団のみなさん

■夏の食中毒にご注意を！

～家庭でできる食中毒予防の3原則～

1. つけない

- ・調理前、トイレの後、ペットに触れた後は石鹸で丁寧に手を洗いましょう
- ・生肉や魚に触れた手や、包丁・まな板はその都度洗浄・消毒しましょう
- ・焼肉では、生肉専用の箸やトングを用意し、食べる箸とは区別しましょう
- ・お腹の調子が良くない時は、念のため調理は控えましょう



2. 増やさない

- ・食材は購入後すぐに冷蔵庫や冷凍庫に入れましょう
- ・調理品や購入した弁当などは、長時間室温に放置せず、早めに食べましょう
- ・残り物や作り置きは、小分けして冷蔵保管し、早めに食べましょう



3. やっつける

- ・中心部までしっかり加熱し、細菌やウイルスをやっつけましょう

問 青森県三戸保健所

☎0178-27-5111 (代)

■三戸地方教育研究所から教育相談のご案内

三戸地方教育研究所教育相談室では、幼児・児童・生徒や保護者、学校等からの教育に関する相談に応じています。以下のような悩みがありましたら、お気軽にご連絡ください。

◎このような場合にどうぞ

- ①子どもの発達や就学について ▽学習面で不安がある ▽落ち着きがない ▽友達とうまく関われない ▽気持ちが不安定である
- ②不登校について ▽学校に行きたがらない ▽いじめやからかいがあるようだ ▽再登校へ向けた支援や学習支援をしてほしい

▼教育相談の受付

月曜日～金曜日 午前10時～午後4時

※電話でご予約ください。

教育相談専用番号 ☎23-3666

問 三戸地方教育研究所 三戸町大字

在府小路町17 ふくじゅそう3階

☎23-3625 FAX 23-4096

http://www.sankyouken.com/



◆生にんにくを送りました。

大村優太隊員です。にんにく収穫祭が終わった翌週末、町内のにんにく農家さんで収穫のお手伝いをさせていただきました。昨年のお手伝いと同様に、収穫作業はなかなかにしんどく、農家の方々のご苦労が身に染みて感じられました。



収穫したての生にんにくを、山梨に住んでいた時の友人へ発送しました。生にんにくを食べるのは初めて、そもそもにんにくの「生」ってどういう状態？とのことでしたので、いろいろ説明しました。反応が楽しみです。

◆八戸で「生にんにくまつり」開催しました！

吉村隊員です！ 6月13日・14日、八戸市のコワーキングカフェ「エスタシオン」で、田子の掘りたて生にんにくをPRしました。詰め放題やプランターでの収穫体験を通じて、幅広い世代や観光客にも楽しんでもらい、2日間で50人以上に来場いただきました。田子の生にんにくの魅力や次週の収穫祭の告知もでき、盛況に終わることができました。



日は過ぎ、既に関西と変わらない暑さですが、日々乗り越えていきましょう！

◆はっつけよい

皆様こんにちは！ 大西主真隊員です。6月27日、田子小学校校内相撲大会の見学に行きました。勝負が長引いて熱戦を繰り広げた時や、ものすごいパワーによって一瞬で勝負が決まった時など、観客席から大歓声が起こりました。負けて泣いてしまう子もチラホラいましたが、勝った子と同じくらい、みんなかつこよかったです！



それにしても、小学生といえど、みんな力強く迫力があります。もし僕が、本気でこの子たちと相撲を取っても勝てないのでは……と感じる運動不足の40歳、夏の初め。

◆首都圏で「たっこにんにく」をPRしました！

川原隊員です。6月28・29日、東京都内の人気にんにく料理専門店「Garlic × Garlic 渋谷店」にて、たっこにんにくの魅力をPRするイベントを開催しました。町長やガーリックレディも参加し、お客様にたっこにんにくの特長や田子町の魅力を直接ご紹介しました。



店内は満席となる盛況ぶりで、「たっこにんにくをたくさん食べて首都圏から応援したい」「実際に田子町を訪れたい」との声も寄せられ、認知拡大とファンづくりを進める、意義あるイベントとなりました！

■ 農地を貸したい方と、農地を借りたい方を募集中～農地中間管理機構に申請してみましょう！～

農地の所有者で、経営規模を縮小する方、または農業をリタイアする方で、作付けしなくなった農地を、農地中間管理機構へ貸してみませんか？

機構は、農地の所有者から借り受けた農地を、規模拡大したい担い手等に対して貸借契約をする「農地中間管理事業」を行っております。

これは、農地の所有者・機構・農地の担い手の3者での契約であり、公的機関が間に入っていることから、安心した契約が行えます。また、担い手に貸し付けることで、耕作放棄地の増加が抑えられるとともに、農地の有効活用が図られます。

農地を貸したい意向がある方、農地を借り受ける意向がある方は、担当課までご相談ください。相談は、随時受付しております。

詳細については、産業振興課、農業委員会、または支援センターへご相談ください。

問 役場産業振興課（袖村） ☎ 20-7116

問 田子町農業委員会（工藤） ☎ 20-7120

問 公益社団法人あおもり農業支援センター（青森県農地中間管理機構） ☎ 017-773-3131



■ 田子町農地バンク事業へ登録してみませんか？貸したい・売りたい農地を登録してみましょう！

田子町農業委員会では、農地の所有者等から“貸したい、売りたい”農地の情報を取りまとめ、意欲ある担い手へ結びつけるとともに、農地の有効利用や遊休農地及び荒廃農地の発生防止または解消に寄与することを目的に、田子町農地情報バンク事業を実施しております。

農地所有者で、“貸したい、売りたい”農地がある方や、事業内容を詳しく聞きたい方は、農業委員会までお申し込み、またはお問い合わせください。

また、町ホームページへも内容を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

▼申込期間 通年（いつでもお問い合わせ可能）

▼申込場所 田子町農業委員会（役場1階）

問 田子町農業委員会 ☎ 20-7120



●広報たっこでは、皆様からの情報提供をお待ちしています。紙面に掲載可能な行事などありましたら、下記までご連絡ください。

役場政策推進課 ☎ 20-7127

■ 農業用使用済みビニール・マルチポリなどの処理について

安全な農作物を供給できる産地として信頼を得るためにも、適正処理に努めるようお願いいたします。

▼回収日 ◎2回目 9/2（田子地区）9/3（上郷地区）9時～15時（両日）◎3回目 10/15（田子地区）10/16（上郷地区）9時～15時（両日）【予定】◎最終 11/13（全地区）9時～12時【予定】

▼処理費用 60円／1kg（現金持参）

▼廃プラスチック分別（8種類）

1	色マルチ（緑、黒、白黒、シルバーグリーン等）は一緒
2	農ポリ、透明マルチ、白ラップ（牧草用）は一緒
3	ハウスビニール（塩化ビニール）
4	肥料袋、サイロッコは一緒
5	防風ネット、ネット類、遮光幕、ブルーシート、ポリポット、ハウスバンド、ラブリット、灌水チューブ、育苗箱は一緒
6	農業プラスチックボトル（容器は、3回以上水洗いし、空にしてフタを外した状態でフレコンに容器とフタを一緒に入れる。）
7	ビニール・ポリ・肥料袋は、それぞれ別のフレコンバックに入れて回収場所へ搬入してください。
8	ポリは、透明ポリと色付ポリ（緑、黒色など）の2種類に分けて搬入してください。

▼フレコンバック貸出 JA八戸で貸し出している以外のフレコンバックは回収できません。

※自前のフレコンバックでフレコンごと処分して良い場合のみ回収できます。

▼注意事項① 分別されていない場合、回収はできません。

▼注意事項② 領収書は、インボイスに対応しておりません。

※インボイスでの対応を希望される方は、各自で処理施設へ搬入願います。

問 三戸地域農業用使用済プラスチック適正処理推進協議会 八戸農業協同組合 田子グリーンセンター

☎ 32-4058

■ 2025年度 田子町英会話教室参加者募集！

国際交流推進員ルイスさんを講師に英会話教室を開催します。ぜひこの機会に生きた英語を聞いて、英会話を習得しませんか？

お気軽にご参加ください！

▼クラス名

①キッズコース（小1～小3）

②ジュニアコース（小4～小6）

③ナイトクラス（中高生～一般）

※詳しくは下記までお問い合わせください。



問 田子町ガーリックセンター（市橋、佐藤）

☎ 32-3165

■ 宮下知事と対話する「#あおばな」実施団体募集

宮下知事が出向いて県民の皆さまの声をお聴きする、県民対話集会「#あおばな」の実施団体を募集します。

- ▼対 象 県内所在の10名程度の参加者が見込まれる団体等
- ▼募集期間 8月15日(金)～8月29日(金)
- ▼実施期間 10月14日(火)～12月21日(日)
- ▼応募方法 専用応募フォームから申込

問 青森県総務部広報広聴課
☎017-734-9138



【県庁ホームページ】

■ 三戸高校の取り組みの紹介

三戸高校は、青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画(令和5年度～令和9年度)において「地域校」として配置しています。今年度は28人の新入生を迎え入れました。

三戸高校では、更なる活性化を目指して学校と地域等が一体となって教育環境の充実に向けた取り組みを行っています。その取り組みの一部についてご紹介します。

▼学校の取り組み

- コピーライティング、イラスト、デザインなどプロのクリエイターたちの指導のもと、地域、社会貢献となるプロジェクトを企画・実行する「クリエイティ部」の設置
- 地域人財と協力し、地域活性化プロジェクトの企画・実行を通じて、自ら未来を切り拓く力を高める教育活動

▼地域等の取り組み

- 生徒の通学に係る経費の補助
- 資格取得や検定に係る経費の補助
- 給食センター調理の昼食提供
- 進路達成支援(小論文対策講座などの支援)
- クリエイティ部等の活動支援

引き続き、地域の皆様のご協力を得ながら、三戸高校の魅力化に向けて取り組みます。

三戸高校の
HPへはこ
ちらから⇒



地域校につ
いてはこち
らから⇒



問 青森県教育庁高等学校教育改革推進室
〒030-8540青森市長島1-1-1
☎017-734-9866

■ 精神保健福祉相談のお知らせ

青森県三戸保健所では、精神科医による精神保健福祉相談を実施しています。完全予約制ですので、ご希望の方は、相談日前日までにお電話にてご予約ください。※予約状況によっては、ご希望に沿えない場合がございますのでご了承ください。



- ▼対象 心の病気に関する不安や悩みのある方で、精神科、心療内科に通院していない方またはその家族
 - ▼内容 心の病気に関する不安や悩みについての相談
- ※相談は無料です。診断や処方はありません。

▼日程

相談日	受付時間
8月20日(水)	14:30～15:30
10月21日(火)	13:30～14:30
12月24日(水)	14:30～15:30
2月17日(火)	13:30～14:30

▼場所 青森県三戸保健所(八戸市尻内町鴨田7)

▼ご予約・お問い合わせ先

青森県三戸保健所 健康増進課
受付時間: 平日(月～金) 午前8時30分～午後4時30分
☎0178-27-5111 内線286・287

■ 個人事業税の納付について

個人事業税は、物品販売業、請負業、不動産貸付業、医業、理容業などの事業を営む個人の方に、前年中の所得をもとに課税される県の税金です。

8月中旬に送付される納税通知書により、原則として8月と11月の2期に分けて納めていただきます。

今年度の第1期分の納期限は9月1日(月)です。期限までにお近くの金融機関やコンビニエンスストアなどで納めてください。

詳しくは、県ホームページをご覧ください。県税事務所までお問い合わせください。

問 青森県三八県税事務所 課税第一課
☎0178-27-5111 内線208



■ 令和8年4月採用 三戸地区環境整備事務組合職員募集

当組合では、令和8年4月採用職員を募集します。

試験日程、職種、採用予定人数などについては、7月22日(火)から、当組合事務局で募集要項を配布するほか、組合ホームページでもご覧になれます。

問 三戸地区環境整備事務組合 事務局
南部町大字沖田面字千刈45 ☎23-0567
URL: <https://www.sannohekankyou.jp/>

■ 労働委員会委員による労働相談会

個々の労働者と事業主との間に生じた労働問題（解雇・賃金引き下げ・長時間労働・パワハラなど）について、青森県労働委員会委員が相談に応じます。

▼開催日時及び場所

開催日	時間	場所
8月5日(火)	13時30分～15時30分	青森県労働委員会 (東奥日報新町ビル4階)
9月2日(火)	13時30分～15時30分	
9月21日(日)	10時～12時	
10月5日(日)	10時～12時	弘前市総合学習センター(弘前市)
10月7日(火)	13時30分～15時30分	青森県労働委員会 (東奥日報新町ビル4階)
10月19日(日)	10時～12時	ユートリー(八戸市)
10月26日(日)	10時～12時	青森県労働委員会 (東奥日報新町ビル4階)

▼対象者 県内の労働者・事業主

▼対応者 青森県労働委員会委員

▼その他 費用無料、秘密厳守、随時受付(予約優先)

問 青森県労働委員会事務局

☎ 017-734-9832 FAX 017-734-8311

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/roi>

/roi-sodankai.html

■ 児童扶養手当・特別児童扶養手当について

児童の健やかな成長を願って、ひとり親の母子または父子家庭などに対し支給される手当です。(所得制限あり) ※児童とは、18歳の誕生日後の最初の3月31日まで。

▼対象者(外国人の方も対象)

○児童扶養手当

- ・父母の離婚等により、父(母)と生計をともにしていない児童の母(父)
- ・父(母)が身体などに重度の障害がある児童の母(父)
- ・父母にかわってその児童を養育している方(養育者)



○特別児童扶養手当

- ・20歳未満で身体または精神に障害をお持ちのお子さんを監護している父もしくは母(所得が多い方)
- ・父母にかわってその児童を養育している方(養育者)

▼支給日

○児童扶養手当 5・7・9・11・1・3月(計6回)

○特別児童扶養手当 4・8・11月(計3回)

詳しくは、役場住民課へお問い合わせください。

問 役場住民課子育て定住移住支援室(大下)

☎ 23-0678

■ 8月は「電気使用安全月間」です

夏は肌の露出が多くなり汗もかくことから、電気が流れやすくなります。

また、暑さにより注意力が散漫になりがちのため、感電事故が多くなる傾向にあります。

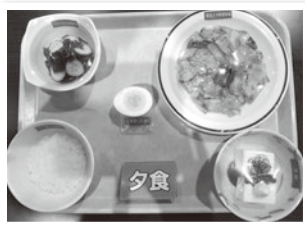
そこで、経済産業省では、毎年8月を「電気使用安全月間」と定め、関係団体の協力のもと電気に関する安全運動を展開し、広く電気事故防止を呼びかけています。電気安全に心がけましょう。



みなさんにご紹介!

たっこ町民のウチゴハン

昨年度のひとくるめや文化祭でみなさんが体験した「食育 SAT(サット) システム」。実物大フードモデルを選ぶだけ。サットいつもの食事のバランスチェックができます。今月は星5つ判定の満点者、健康教室参加者の70代女性の夕食をご紹介します。



内容

ご飯少なめ(100g)
野菜炒め
ゆで卵
冷奴(薬味たっぷり)
わかめときゅうりの酢の物

GOOD ポイント

- ▽味噌汁は朝は「金」、夜は「銅」。夏場の夕食は味噌汁代わりに冷奴がおすすめ。薬味を活用して減塩に。
- ▽たんぱく質が足りないと時の救世主は「ゆで卵」。作り置きをして冷蔵しておくとし便利。間食にもおすすめ。
- ▽酢は血圧・血糖値を↓。カルシウム吸収もサポート。夕方～夜に乳製品を食べておくとダブルの効果あり。

(役場地域包括支援課栄養士 本木)

■ アイヌの方々からの様々なご相談をお受けします

◎相談専用電話

フリーダイヤル ☎ 0120-771-208

▼受付 月曜日～金曜日(※祝日、12/29～1/3を除く)

▼時間 午前9時～午後5時

●相談無料 ●匿名可 ●秘密厳守

▽公益財団法人 人権教育啓発推進センター

〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12

KDX 芝大門ビル4階



本相談事業は、(公財)人権教育啓発推進センターが、厚生労働省生活相談充実事業により実施するものです。

■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：中村)
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

第77回三戸郡総合スポーツ大会競技結果 総合第5位

6月1日・7日～8日の3日間、三戸町を主会場に第77回三戸郡総合スポーツ大会が開催されました。

郡内選手団の総員は、1000名を超え、各競技会場では、日頃の練習の成果と町の名譽をかけて、熱戦が繰り広げられました。

結果は、相撲競技の優勝もあり、総合順位第5位となりました。

各競技の上位入賞をお知らせします。

☆団体競技

◎優勝 相撲競技

◎第2位

野球競技、

バレーボール競技、

弓道競技、バドミントン競技

◎第3位 卓球競技、ボウリング競技、陸上競技女子

☆個人競技 (個人戦)

◎優勝

【陸上競技】 男子40歳以上2000m 森崎進也
男子年齢制限なし走高跳 山崎健太

【相撲競技】 小原潤

◎第2位

【相撲競技】 山市康寛

【弓道競技】 野田龍平

【陸上競技】 女子30歳以上100m 市村さおり

◎第3位

【陸上競技】 男子40歳以上2000m 大橋透
女子年齢制限なし1500m 上沢美月
男子年齢別混成リレー
山崎健太、大橋透、宇藤明大、森崎進也



相撲競技



野球競技



卓球競技

みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

●田子神楽養成講座

▽と き 8月8日(金)・22日(金)
午後7時～8時30分
▽ところ 中央公民館ホール・和室
▽対 象 小・中学生及び高校生
▽持ち物 扇

●フラワーアレンジメント教室

▽と き 8月26日(火) 午後7時～9時
▽ところ 上郷公民館研修室
▽参加費 3,000円程度
▽内 容 秋の寄せ植え
※8月18日(月)までの申込みが必要です。

●ナニヤドヤラ講座

▽と き 8月7日(木)・13日(水)・20日(水)
27日(水) 午後7時～9時
▽ところ 中央公民館ホール
▽参加費 無料
▽申込み 不要 ※直接会場へお越しください。
▽対象者 小学生以上

※日程や内容を変更する場合があります。講座に関する情報は都度TCVやデータ放送、チラシでお知らせします。



図書館情報

夏休み 図書館で 本を読もう 「第17回 絵本屋さん大賞」特集

●「絵本屋さん大賞」特集



絵本を中心に紹介する雑誌「MOE」が全国3000人の絵本専門店・書店児童書担当者にアンケートを実施し、2024年に最も支持された絵本39冊を決定！大人も子どもも楽しめる絵本を、図書館で展示・貸出します。

昨年度の展示の様子

●「中学生・高校生におすすめ」本棚～ティーンズコーナー

図書館に入っすぐ右側の本棚は、中学生・高校生におすすめの本を集めた「ティーンズコーナー」です。教科書で紹介している本、心理学、職業、スポーツ、文庫本、コミック、絵本などなど。読みたい本があるときは「本のリクエスト」をご利用ください。



ティーンズコーナー

●図書館の本を探すことができます

田子町ホームページ内の町立図書館のリンクや、「カーリル」（全国図書館蔵書検索サイト）から、図書館にご希望の本があるかどうか探すことができます。パソコンやスマートフォンからいつでもご利用ください。

図書館おやすみカレンダー

2025							8月	
日	月	火	水	木	金	土		
					1	2		
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24 31	25	26	27	28	29	30		

▼色の濃い日が休館日です。

田子町立図書館（担当：川村）
☎20-7221

図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時
日曜日 午前10時～午後4時

8月の図書館行事

▼8/2（土）午前11時

読書マラソン表彰式

▼8/6（水）午前10時

ブックスタート／せせらぎの郷

▼8/20（水）

セカンドブックはお休みです。

※8/13（水）～15（金）は午後4時で閉館します。

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日
（館内整理日）

新刊案内

●医学

▽父と娘ときどき母の認知症日記／南高まり／493ミ

▽元気になる！らくらくやせる！ニンニク活用レシピ／498ゲ

●料理、工芸

▽一品完結ごはん／藤井恵／596フ

▽山葡萄で編むかごバッグ／754フ

●歴史・時代小説

▽関ヶ原仁義／中／三河雑兵心得16／井原忠政／913イ

▽烈風を斬れ／砂原浩太郎／913ス

▽親子坂／夜叉萬同心3／辻堂魁／913ツ

▽藍より出でて／夜叉萬同心4／辻堂魁／913ツ

▽とんとん拍子／めおと相談屋奮闘記8／野口卓／913ノ

▽新しい光／めおと相談屋奮闘記9／野口卓／913ノ

▽家族ぜんざい／料理人季蔵捕物控49／和田はつ子／913ワ

●警察小説、ミステリーなど

▽三毛猫ホームズと甘い誘惑／赤川次郎／913ア

▽新心霊探偵八雲2／神永学／913カ

▽ニンジャ／今野敏／913コ

▽踊りつかれて／塩田武士／913シ

▽武闘刑事／高頭牙子3／中山七里／913ナ

▽不等辺五角形／貫井徳郎／913ヌ

●そのほかの小説など

▽クロエとオオエ／有川ひろ／913ア

▽皇后の碧／阿部智里／913ア

▽つくみの記憶／白石一文／913シ

▽ゆうれい居酒屋7／山口恵以子／913ヤ

▽どうせ世界は終わるけど／結城真一郎／913ユ

▽ヨシモトオノ／吉本ばなな／913ヨ

▽わたしたちが光の速さで進めないなら／キムチョヨブ／929キ

●エッセイなど

▽悩悩と生きる／脳科学で答える人生相談／中野信子／159ナ

▽17歳のときに知りたかった受験のこと、人生のこと。／ビーやま／376ビ

▽93歳、あとは楽しげに生きる／樋口恵子／367ヒ

▽だいたいしあわせ／阿川佐和子／914ア

■警察署コーナー



●夏の水難事故を防ごう

楽しい夏のレジャーでは毎年、海や川での水難事故で尊い命が失われています。

青森県では、昨年（令和6年）、28件（32人）の水難事故が発生し、7月と8月には4件（4人）の水難事故が発生しています。

▽昨年（令和6年）7月・8月の水難事故発生状況

○発生件数 7月中 2件2名（死亡1名、無事救助1名）
8月中 2件2名（無事）

■消防署コーナー



●夏休みを楽しく過ごすために

この時期は、花火やお盆の迎え火、送り火による火事、川などでの水による事故が発生しやすいので、次のことに注意し、楽しい夏を過ごしましょう。

《花火遊び》

- ・大人と一緒に遊びましょう。
- ・水バケツを準備しましょう。
- ・広い場所遊びましょう。
- ・人や建物に絶対向けないようにしましょう。
- ・不発の花火を燃やさないようにしましょう。
- ・花火は1本ずつ遊びましょう。
- ・注意事項をよく読みましょう。

救助2名 ○発生場所 海2件 河川2件 ○行為別 水遊び2件 その他2件

▽水難事故防止の留意事項

・必ず大人が付き添って、子どもから目を離さないようにしましょう

・悪天候の時は、海や川に近づかないようにしましょう
・危険な場所で遊ばないようにしましょう

・河川、中州、川幅の狭いところは、急な増水に注意しましょう

▼三戸警察署田子警察官駐在所 ☎32-3109

《お盆の迎え火・送り火》

・風の強い日は焚かないようにしてください。

・火を完全に消してください。

《海水浴場・プール等》

・指導者、監視者の指示、注意を守りましょう。

・一定時間ごとに休憩をとり、体調が悪い時は無理をしないようにしましょう。

※保護者の皆さんへお願い

誰とどこへ行くのかを聞き、絶対に一人で行かせたり、子どもたちだけで行かせたりしないでください。また、帰宅時間を守らせ、帰宅後の健康状態（疲労や病気など）にも注意してあげましょう。

▼三戸消防署 田子分署

☎32-3104

■警察官B（高卒・短大卒）及び警察事務（高卒程度）募集します

◎警察官B

▼受験種別 警察官B男性及び警察官B女性

▼採用予定人員 とともに未定

▼受験資格 平成5年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者。ただし学校教育法による大学（短期大学を除く。以下「大学」という。）を卒業した者または令和8年3月31日までに大学卒業見込みの者（人事委員会が同等の資格があると認めた者を含む。）を除く。

◎警察事務

▼受験種別 警察事務

▼採用予定人員 未定



▼受験資格 平成16年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者。

警察官B（男性）のみ、警視庁または神奈川県警の警察官を第二志望として同時受験することができます。受験資格等は、都県によって異なりますので詳細については、各都県にお問い合わせください。

▼受付期間 ▽警察官B 7月7日（月）～8月27日（水） ▽警察事務 8月1日（金）～8月22日（金）

▼第一試験 9月28日（日）

▼試験場所 ▽警察官B 青森市、八戸市、弘前市、さいたま市 ▽警察事務 青森市、八戸市、弘前市

8月の主な保健・介護予防事業予定表

1 (金)	生きがい倶楽部（上郷公民館） 午前10:00～午後2:30	19 (火)	生きがい倶楽部（老人福祉センター） 午前10:00～午後2:30
5 (火)	生きがい倶楽部（老人福祉センター） 午前10:00～午後2:30	20 (水)	日本脳炎Ⅱ期予防接種（せせらぎの郷） 午後1:00～3:00
6 (水)	乳児健診（せせらぎの郷） 午前9:30～正午	22 (金)	生きがい倶楽部（上郷公民館） 午前10:00～午後2:30
	二種混合予防接種（せせらぎの郷） 午後1:00～3:00	26 (火)	生きがい倶楽部（老人福祉センター） 午前10:00～午後2:30
8 (金)	生きがい倶楽部（上郷公民館） 午前10:00～午後2:30	27 (水)	予防接種（せせらぎの郷） 午前10:00～正午
13 (水)	予防接種（せせらぎの郷） 午前10:00～正午	29 (金)	生きがい倶楽部（上郷公民館） 午前10:00～午後2:30



心の相談窓口

役場地域包括支援課 ☎20-7100

町の人口

令和7年6月30日現在

世帯数/2060（-2）
人口/4649（-8）
男/2248（-4）
女/2401（-4）
（ ）内は前月比です

お悔やみ

●元村勝晴（94歳）宮野

●梅内隆子（88歳）山口

●井畑光湖（45歳）中本町

● 個人情報保護のため掲載を省略しています

● 個人情報保護のため掲載を省略しています

※（ ）内は享年、（ ）のあとは行政区です



学校の話 田子中学校

●このまちで育つといふこと
～地域学～

4月に19名の新入生を迎え、生徒77名、職員18名の95名でスタートしました。

今年度の田子中学校の取り組みの目玉は、総合的な学習の時間を使った『地域学』です。これまでの『地域学』の取り組みと、今後の予定は次の通りです。

○1年生：①農林業体験学習に向けて「このまちで育つといふこと」～田子町の農業と林業～講師：沢森委員・宇藤委員・深沢委員

②郷土探訪に向けて「このまちで育つといふこと」～田子町の歴史NobuとToshi・田子神楽について～講師：木村明彦元校長先生・中山委員

○2年生：職場体験学習に向けて「このまちで育つといふこと」～田子町の産業及び職業～講師：大村委員・古田委員・五十嵐委員

○3年生：卒業研究に向けて「このまちで育つといふこと」～田子町の未来～講師：佐藤会長
これまで田子中学校で行ってきた総合的な学習の時間の取り組み



について、「田子町協働のまちづくり町民会議」の皆様との協力を得て、その道のプロの方々から、生の声、実際の取り組みについてお話しいただき、それぞれの活動に生かしていこうという取り組みです。佐藤会長からは、『10年後の田子町を支える君たちは、今から考えておく必要がある』との熱いメッセージを受け、『このまちで育つといふこと』

そして『10年後の田子町』について、改めて考えていきます。

さらには、これまで行ってきた伝統芸能『ナニヤドヤラ』の継承については、今年度から毎月1回程度ではありますが、町の保存会の協力を得て、練習・継承していくこととなりました。

このように今年度の田子中学校は、様々な活動で地域の皆様の協力を得て教育活動を展開していきます。生徒たちの成長に、ご期待ください。

(原稿・画像提供 田子中学校)

陶芸

陶芸作品

陶芸クラブ 陶寿延 (代表 長澤静子)



「ビアカップ」

作者：柳田慮子
暑い季節、陶器でビールもいいのかもと思い、作陶しました。



「キャンディ入れ」

作者：尾形千恵子
暑い夏、冷たいアメ、甘いアメ、甘酸っぱいアメ、今日はどんな味にしようかな……。

陶芸にチャレンジしてみませんか？ 毎週火曜日・水曜日に活動しています。興味のある方は、役場住民課(☎20-71119)までご連絡ください。

TCV(田子町ケーブルテレビジョン) からのお知らせ

◎サポートセンター(月曜～金曜 午前9時～午後5時)

☎0120-557-759 (祝日を除く)

加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。

◎故障受付(24時間) ☎0120-262-750

テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。





第6回 三町食べ歩きスタンプラリー

7月18日から来年1月31日まで、田子町、三戸町、南部町の三町の飲食店で、三町食べ歩きスタンプラリーが開催されます。今回で6回目の開催を迎え、田子町では13店舗が参加します。

昨年よりスタンプカードに加え、デジタルスタンプが導入され、各町の参加店舗が検索できるようになりました。

ぜひこの機会に三町の飲食店を巡ってみませんか。

問 実行委員会事務局

田子町商工会 ☎ 32-2177

はじめてのハッピーバースデー

令和6年7月に生まれた満1歳のお友だちです。



●中島心羽ちゃん
R6.7.17

(野月・女の子)

1歳のお誕生日おめでとう☆ ころなかのかわいい笑顔がだ〜いすき♡ これからもすくすく大きくなあれっ♡

連載

住み慣れた田子町で 助け合いながら暮らし続けられる 「田子町型地域共生社会」の実現へ

地域共生社会とは

住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域の住民が互いに支え合い、共に暮らしやすい環境を作る社会のことです。高齢者や障がい者をはじめ、**すべての人々が地域で孤立せず、安心して暮らし続けられるよう、地域資源や人々のネットワークを活用し、共に助け合う社会**を目指すものです。

子ども・子育て支援専門部会の取り組み

子育て相談はどこに
聞けばよいの？

全国よりぽっちゃり
さんが多めだな？

子育て相談を気軽に
したい。

子どもを取り巻く
環境にはいろいろな課題
があります

朝ごはんちゃんと
食べてる？

年齢問わず子どもと
親が気軽に集まれる
場所があるといいな。



子どもたちは学校以
外でどのように過ご
しているの？

新しい「こどもの居場所」ができました！

◎ GYUTTO (ぎゅっと)

主催・場所：たっここども園

開催：年6回（2カ月に一回）

食事提供と遊びや手芸などの様々な
体験を行っています。



◎ TAKKOLABO (タッコラボ)

主催：田子町社会福祉協議会

共催：地域おこし協力隊 吉村悠司

田子町の子どもたちに非日常体験を！

次回開催予定 8月9日(土)



こどもの居場所が

- ▼地域のつながりの強化 ▼学年を超えた子ども
ものつながり ▼子どもが安全に過ごせる場の提供
- ▼保護者を含めたサポート ▼子どものできることの再発見
につながることに気づきました。

でも、

継続するためにスタッフの確保や運営方法に課題が……



令和7年度は、こんな話し合いを進めています。

- ・SNSを活用した相談窓口の設置について検討しています。
- ・子どもたちの声を聴くために、子どもを対象としたアンケートの実施を考えています。
- ・こどもの居場所を継続するために、ボランティア募集や運営方法について協議しています。